

# 清水貴之 しみず たかゆき 活動報告



発行：参議院議員 清水貴之事務所 〒662-0916 兵庫県西宮市戸田町4-23-202 / 電話：0798(24)2426 / FAX：0798(24)1942

## コロナウイルスとの共存、新しい生活様式へ

新型コロナウイルス対策が中心となった通常国会は、6月17日閉会しました。緊急事態宣言が発令されてから解除までの1ヶ月半、外出自粛や休業要請に強制力は無かったものの、感染の拡大が抑えられたことは、国民の皆様が懸命に取り組んだ「日本モデル」の成果だと言われています。しかし、自粛による経済ダメージは社会全体に大きな影響を及ぼしています。第2波、第3波も懸念される中で、コロナ共存生活に対応した生活様式と医療体制の整備や政府の支援策を行きわたらせることが重要です。今この時期にこそ、「新しい社会のルールと体制」づくりに力を入れていきます。

### 新しい生活様式に則した社会のルールと体制づくりを提案

- 1 感染症用の集中治療室の増設、対応医療関係者の増員
- 2 ウイルスの性質、実態の科学的・国際的な調査の推進
- 3 給付金の支給事務をスピーディかつ的確に可能とするマイナンバー法の改正
- 4 「非常事態宣言」の国の統一した基準策定など、法改正も含めた政府・自治体間の体制整備
- 5 休業での収入減などによる生活保障の拡充と消費喚起のための消費税減税
- 6 国会議員歳費カットなどコロナ対策財源確保のための行財政改革
- 7 教室やホールの整備など、感染終息後も見据えた教育、文化へのコロナ支援対策の推進



### コロナ対策における大阪の情報発信とスピード感！自治体間で大きな差が

- ✓ 全国に先駆け「大阪府入院フォローアップセンター」の設置
- ✓ 防護服不足対応として雨合羽の提供の呼びかけ
- ✓ 十三市民病院での新型コロナウイルス中等症患者の専門的受入決定
- ✓ 通天閣を新型コロナウイルスの大阪独自の警戒基準、赤色(警戒レベル)、黄色(注意喚起レベル)、緑色(基準内)の3色でライトアップ
- ✓ コロナウイルスのワクチン治験を全国初で開始し、来年の実用化を目指す
- ✓ QRコードを利用した独自の「大阪コロナ追跡システム」の導入
- ✓ 休業要請解除に向けた「大阪モデル」基準を独自に設定、第2波に向けて社会経済活動も両立させるよう見直しを検討中  
(その他多くの施策を提言)



地方から全国に発信を続ける吉村大阪府知事。コロナ感染終息に向けて、独自の施策で提言を続けています。各首長の判断力やスピード感・組織マネジメント力の違いが、はっきりと都市間で現れる結果となりました。リーダーシップと決断力のある首長に期待が寄せられています。

郵便はがき



6 6 2 - 8 7 9 0

料金受取人払郵便

西宮局  
承認

(受取人)

3170

兵庫県西宮市戸田町 4-23-202

清水 貴之 後援会 行

差出有効期限  
令和3年12月19日まで

切手不要



|        |     |
|--------|-----|
| フリガナ   |     |
| お名前    | 男・女 |
| 〒      |     |
| ご住所    |     |
| TEL    |     |
| FAX    |     |
| E-mail |     |





# 現場の声を国政に届けました

## 医療現場・従事者の体制の整備・確保について

医療現場の切実な声を聞き、医療物資や人員の不足、コロナ患者の受け入れ体制について、厚生労働省に働きかけるとともに委員会質疑でも取り上げ、医療物資の確保や感染症対応従事者慰労金などが補正予算に盛り込まれました。加えて、日本維新の会は、通常の医療提供体制から感染症シフト体制への移行や、足りないICUセンターやコロナ専門病院の整備、PCR検査だけに頼らない検査体制の確立、ワクチンの早期開発を提言しています。

## 学生支援について

コロナで困窮した学生の方から、奨学金の返還が困難、アルバイトができず減収した、内定が取り消しになり支援が必要といった要望が届きました。文部科学省に現場の声を伝えたところ、返還期限猶予制度を含む緊急支援策が創設されました。更に、日本維新の会としては半年間の学費減免と9月入学の切り替えやオンライン授業の本格導入を申し入れました。

## 持続化給付金について

経営者の方々から、手続きがオンライン申請だけに限られているため上手くいかない、給付までに時間がかかり過ぎるとの相談がありました。経済産業省に現状を伝え、申請手続きが改善されました。尚、日本維新の会からは要請に従い休業している場合の給付額の引き上げ、創業間もない事業への要件緩和を申し入れました。

## 雇用調整助成金について

雇用主と勤労者の双方から、手続きの迅速化や額の引き上げの要望を受け、委員会質問などで度々取り上げました。書類の簡素化や要件の緩和、また上限額の引き上げ、更には勤労者からも直接請求ができるよう改善されました。

## 事業資金補償について

家賃支払いに困っていた事業主の方々からの要請で、自治体毎の取り組みだった家賃補助を国で実行するよう経済産業省に申し入れをしました。今夏申請が開始される予定です。併せて、日本維新の会としては不動産所有者への補助を主張し、猶予と補助を組み合わせるといった提案をしました。

## マイナンバーの活用について

給付金の早急な支給を実行するため、日本維新の会はマイナンバー制度の活用を提言しています。政府もマイナンバーを通じた行政のデジタル化の推進により早く動き出しました。利用範囲が限定されているマイナンバーを、給付金の支給などにも広く使えるよう法整備を進めていきます。

# 通常国会での質問内容

## 3月9日 予算委員会

フリーランスへの休業補償、民間事業者への資金繰り支援など

## 3月10日 内閣委員会

コロナウイルスの日本経済への影響と経済対策など

## 3月13日 内閣委員会

緊急事態宣言の期間や区域を明確にする必要性など

## 3月19日 ODA特別委員会

ODA業務で海外に滞在する日本人へのコロナ対応など

## 4月13日 決算委員会

オンライン診療の拡充と規制緩和の必要性など

## 4月16日 内閣委員会

家賃補助と家賃支払いの猶予などについて

## 4月27日 議院運営委員会

議員報酬2割削減法案について

## 5月19日 内閣委員会

緊急事態宣言の解除と再指定の基準など

## 6月4日 内閣委員会

コロナウイルス対策におけるマイナンバー制度の活用について

## 6月12日 内閣委員会

Go Toキャンペーン事業の今後の見通しなど



# 大阪都構想へ向けて

吉村大阪府知事・松井大阪市長は、新型コロナウイルスの感染が抑えられていることを前提に、11月1日に住民投票を目指すとして実施時期を明らかにしました。

いよいよ維新の会の一丁目一番地の改革が大阪より始まります！府と市の二重行政の無駄をなくし、副首都として更に再生・発展し、関西発展の起爆剤となる都構想の実現に皆様のお力をお貸し下さい！

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>1 行政の効率化による歳出削減効果</b></p> <p>270万人に一人では事倍えす問題<br/>一方大阪市の人口は270万人と大きく増加</p> <p>4つの課題を解決することで、</p> <p>4人のリーダー、4つの役所、4つの議会での問題解決スピードUP!!</p> <p>1兆1,409億円 5,000億円を削減</p> <p>の歳出削減効果!!</p> | <p><b>2 産業などへの経済波及効果</b></p> <p>歳出削減で生み出した財源から5千億円をインフラ整備等の公共投資を行った場合、</p> <p>1兆1,511億円の経済波及効果!!</p> | <p><b>3 府市連携による経済効果</b></p> <p>大阪府 大阪市</p> <p>広域一元化で最大!!</p> <p>意思決定の迅速化により、計画中の鉄道・インフラ整備が前進した場合</p> <p>4,867億円以上の経済効果が発現</p> |
|--|--|---|

# 清水貴之 後援会のご案内

一般会員は、年会費無料です。ご入会いただきますと、清水貴之 後援会や「日本維新の会」が主催する各種行事のお知らせ、清水貴之 オフィシャルニュース等をお届けします。



## 日本維新の会は 新規党員を、募集しています!!

### 党員募集要項

党費年額：2,000円

※わが党の綱領、主義、政策に賛同される方。

※満18歳以上で日本国籍を有する方。 ※他の政党の党籍を持たない方。

## 下記にご記入をお願いいたします

ご参加・ご入会いただけます項目  すべてに  印をおつけください。

点線に沿ってお切り頂き、切手を貼らずにご投函ください。後日、ご案内を送らせていただきます。

### ① 清水貴之後援会 (入会・年会費無料)

ご協力いただけることがございましたら、 印をおつけ下さい。

近くでミニ集会などがあれば参加することができます。

ポスターを自宅や職場に貼ることができます。

後援会パンフレットを知人などに渡せます。

### ② 日本維新の会党員入党 (年会費2,000円)

## 清水貴之 (しみずたかゆき)

昭和49年6月29日福岡県生まれ。早稲田大学教育学部を卒業後、朝日放送にアナウンサーとして入社。「おはようコールABC」のメイン司会を9年間務める傍ら、関西学院大学大学院にてMBAを取得。維新政治塾一期生。平成25年7月の参院選において初当選。令和元年7月573,427票にて再選。現在2期目。

【所属委員会】内閣委員会、ODA特別委員会、情報監視審査会

【党役職】政務調査会副会長、国対副委員長

